

金沢学院大学大学院

2025 (令和 7) 年度 入学者選抜試験問題 (Ⅱ期)

2025 年 2 月 22 日 (土) 実施

経営情報学研究科経営情報学専攻
博士前期課程

小論文

注意事項

1. 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答は、解答用紙（提出用）に書きなさい。
3. 問題冊子・解答用紙（提出用）・下書き用紙に受験番号・氏名を記入しなさい。
4. 解答用紙には、選択した問題番号を記入しなさい。
5. 試験終了後、問題冊子・解答用紙（提出用）・下書き用紙を回収します。

受験番号	
氏名	

次の問題 1～4の中から、1つ選んで答えなさい。

問題 1

日本の財貨・サービスの純輸出（＝輸出－輸入）の動向をみると、好調なインバウンド需要にもかかわらず 2019 年から赤字基調になっている（2024 年は約 6 兆円の赤字）。この要因として輸出産業の国際競争力低下、デジタル赤字の拡大、鉱物性燃料の輸入依存、産業空洞化等の日本経済の課題が指摘されているが、これらの課題を克服するための対応策について論じなさい。

問題 2

ヘンリー・チェスブロウ（Henry Chesbrough）が提唱したオープン・イノベーションの概念を説明し、従来のクローズド・イノベーションとの違いを述べなさい。その際に、近年になってオープン・イノベーションが実務でも注目されている理由についても説明しなさい。

問題 3

わが国の討議資料「財務会計の概念フレームワーク」においては、①どのような利益の重要性が示されているかを述べた上で、②それと対比され、重要とされている利益について述べ、かつ③それぞれの利益の定義について述べ、④さらに②の利益の有用性について主張の根拠を説明しなさい。

問題 4

大規模言語モデル（Large Language Model）を業務へ導入する場合の効果と注意すべき課題について、一つの業務をとりあげて、可能な限り具体的に論じなさい。冒頭にどのような業種・職種におけるどのような業務を取り上げたかを明記すること。

年度	2024年度実施
研究科	経営情報学研究科
課程	博士前期課程
専攻・コース等	経営情報学専攻
試験科目	Ⅱ期小論文
実施日(試験日)	2025年2月22日
解答又は解答例及び出題意図	
<p>○出題意図</p> <p>本試験は、経営情報学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、受験者が経営・会計、経済、情報などに関する専門的な知識を有しているか、また、それらの知識を活用して積極的かつ創造的に問題解決を図る能力を備えているかを確認することを目的としている。</p> <p>設問は、受験者が経営・会計、経済、情報などの分野から一分野を選択して論述する形式とすることで、専門知識の習得状況および学問的思考力、問題解決能力を評価できるよう設計されている。経営分野については、学術界だけでなく実務においても重要だと認識されているテーマを取り上げて問題を作成している。</p> <p>○解答または解答例(採点時の観点)</p> <p>採点時の観点は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問の趣旨を正確に把握し、論点に的確に応答しているか。 ・経営・会計、経済、情報などに関する基礎的な概念や用語を正確に理解し、適切に用いているか。 ・論理構成が一貫しており、主張と根拠の関係が明確で、説得力のある記述となっているか。 ・知識を活用して積極的かつ創造的に問題解決を図る能力を示すことができているか。 <p>なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、内容の正確性に加えて、論理性・一貫性・表現力を含む総合的な観点から評価する。</p>	